

2020年5月25日

対面授業、学生生活等に関するガイドラインについて

文化ファッション大学院大学
学長 濱田 勝宏

新型コロナウイルス感染拡大防止処置として、対面授業および学生生活等に関するガイドラインを次のとおり示します。

1. 集団感染のリスクへの対応について

- 感染リスクの高い環境(①換気の悪い密室空間②多くの人が密集③近距離での会話や発話)を生じさせない。
- 文化学園内では、可能な限りマスクを着用する。
- 入館時には、必ず手洗いを行うか、手指アルコール消毒剤を利用する。
- 発熱、咳、体調がすぐれない等、風邪のような症状があるときは登校せず、自宅で休養する。発熱や強いだるさ、息苦しさがある場合は、保健所等に相談する。そうでない場合でも症状によっては、医療機関等に相談する。
- 万が一、学園内で罹患者が発生した場合、直ちに全学で全ての活動を中止する。保健所と連携し、濃厚接触者の特定と健康観察を開始し、施設内の必要場所の消毒を行う。消毒が完了した後に活動を再開する。

2. 講義および実習等の授業について

- 教室の窓とドアの開放、換気扇の稼働等により換気に努める。
- 着席する際は、なるべく固まらず、間隔を空ける。
- 教員の示範は、できるだけ少人数のグループごとに行う。
- 授業中は、マスク、フェイスシールドを着用する。

3. 昼食について

- 食堂を利用する際は、混んでいる時間をできるだけ避け、券売機・提供口ではソーシャルディスタンスを保ち、座席は間隔を開けて着席し、私語を慎む。食事が済み次第、速やかに退出する。
- 教室(PC実習室は飲食不可)で、飲食する際は、間隔をあけて着席する。
※教室で飲食した場合は、ごみはごみ箱に捨て、机の上をきれいにし、美化に努めること。
- 昼食は、当分の間、可能な限り弁当を持参するか、バイオレットルーム、A館12階の学生ホール、A館5階とD館6階の間のAD画廊等で売っている弁当等を利用し、できるだけ食堂の利用を控える。

4. その他学生生活に関して

- I館、G館のエレベータは、重い荷物を運ぶ以外の使用を控える。ABC館のエレベータを利用する際は、ソーシャルディスタンスを保って並び、定員を守り、私語をしない。
- 学生が集中している場所ではできるだけ避けるか、間隔をあける。互いに手の届く距離は避ける。
- イベント、宿泊・飲食を伴う活動、海外研修等は中止または延期する。

ウイルス感染予防には、マスクや手洗いなどが重要ですが、何より大切なことは一人ひとりが抵抗力をつけることです。日頃から栄養のバランスを心がけて十分な休息をとり、体調管理に留意しましょう。

以上